会 議 録（公開部分）

会 議 名	平成30年度第9回野田市情報公開・個人情報保護審査会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	<p>1 個人情報取扱事務について（公開）</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民年金保険料に関する事務の変更（国保年金課） ・ 雨水貯留タンク設置費補助金交付事務の開始（管理課） ・ 固定資産税・都市計画税賦課事務の変更（課税課） ・ 市税等の収納管理事務の変更（収税課） ・ 野田市被災農業者向け経営体育成支援事業補助金交付事業の開始（農政課） ・ 就学援助事務の変更（学校教育課） <p>2 諮問事項</p> <p>行政文書開示請求拒否決定に対する審査請求について（非公開）</p>
日 時	平成31年2月20日（水）午前9時30分から午前11時36分まで
場 所	市役所5階 511・512会議室
出席委員氏名	須賀 昭徳、遠藤 昭、高橋 澄江、松本 純子
欠席委員氏名	秦野 幹夫
事務局等	<p>実施機関 渡邊 宏治（総務課長）、高谷 亮介（総務課庶務係主任主事）、山本 茂（国保年金課長補佐）、加藤 純子（国保年金課国民年金係長）、千葉 憲市（土木部次長兼管理課長）、茂木 嘉則（管理課河川排水係長）、田中 正之（管理課河川排水係主任技師）、平野 健一（農政課長）、山中 巖（農政課副主幹兼農政係長）、船橋 高志（学校教育部参事兼学校教育課長）、小倉 一浩（学校教育課長補佐）、袴田 文子（学校教育課主任主事）</p> <p>事務局 渡邊 宏治（総務課長）、高谷 亮介（総務課庶務係主任主事）</p>
傍 聴 者	1名
議 事	
<p>平成30年度第9回野田市情報公開・個人情報保護審査会の会議結果（概要）は、次のとおりである。</p> <p>1 個人情報取扱事務について（公開）</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民年金保険料に関する事務の変更（国保年金課） <p>担当者から概要の説明を受けた。</p> <p>遠藤委員 収集項目の上記以外の項目の「雇用保険加入情報」に下線が引かれているが、これはどんな意味の下線なのか。</p>	

高谷主任主事 今回変更した部分は変更届に記載のとおりですが、この登録簿においては、変更内容が分かりにくいかと思われましたので網掛けをしております。御指摘のあった下線は、今回の変更届において、何かを強調しようとしたものではありません。昨年度の個人情報の運用の見直しでは、「収集項目」については、今までのチェックボックス式であったところを原則記述式とする方針で登録簿の様式を作りました。ただし例外的に、チェックされることが多いと考えられる「氏名」、「住所」から「公的扶助」までの情報は、チェックボックス式としました。それ以外の情報は、記述する場所が分かりやすいよう、登録簿の様式上、下線を引いたという経緯がございます。

松本委員 「記述する場所が分かりやすいよう」という説明があったが、要配慮個人情報の収集する理由の「法令等の名称：」とか「審査会承認：」の部分に下線を引いているのはどういうことか。この部分はどの登録簿にも事前に印刷されているのではないか。「：」以降に下線が引かれるのは分かるが。

高谷主任主事 確かに、「法令等の名称：」の部分は、細かく言うと記述式の部分ではありません。先ほどの説明を少し修正します。様式上、下線や括弧のある「項目」は記述式の「項目」であり、記述がされた後も下線や括弧は残すという考えです。そのことによって収集項目の「上記以外の項目」の欄においては、結果としてはチェックボックス方式でないものがどれかということが明確になっている、という説明に留めさせていただきたいと思います。

須賀会長 ほかに何か意見等あるか。なければ登録簿変更届を承認してよろしいか。
(異議無し)

- ・ 雨水貯留タンク設置費補助金交付事務の開始(管理課)
- ・ 固定資産税・都市計画税賦課事務の変更(課税課)
- ・ 市税等の収納管理事務の変更(収税課)

3件を一括して審議することとし、担当者から概要の説明を受けた。

遠藤委員 課税課からと収税課からの変更届の中で、「本人の同意」を得ることが必要な理由は何か。

高谷主任主事 課税課及び収税課から提供を受けるに当たり、特段法令の根拠がないため、本人からの同意を得ることとしたものです。

田中主任主事 本人からの同意がなければ、本人から課税証明書等の提出を受けることとなります。

須賀会長 ほかに何か意見等あるか。なければ登録簿変更届を承認してよろしいか。
(異議無し)

- ・ 野田市被災農業者向け経営体育成支援事業補助金交付事業の開始(農政課)
担当者から概要の説明を受けた。

松本委員 補助金の額はどのくらいの限度なのか。また、先ほど見積書が提出書類となる旨の説明があった。災害の発生から時間が経過していることから既に施設の再建を行ってしまっている農家もいると思うが、そうした農家も交付の対象となるのか。

山中副主幹 補助金の額の限度という御質問ですが、既に1月から事務を始めており、補助金額の総額の見込みが固まっております。今回の台風被害では、対象の農家が70軒ほどあったのですが、10年間の保険加入が条件であったことから、結果的に交付申請するのは2軒となりました。この2軒に対する補助金の総額は、約245万円を予定しています。なお、今回の2軒はいずれも施設の再建中の農家からの申請でしたが、既に施設の再建を行ってしまい支払をしている農家でも交付対象です。そうした農家が申請するときの提出書類は「見積書」ではなく「領収書」の提出を受けることになると考えています。

須賀会長 ほかに何か意見等あるか。なければ登録簿変更届を承認してよろしいか。
(異議無し)

- ・ 就学援助事務の変更(学校教育課)
担当者から概要の説明を受けた。

高橋委員 「本人の同意を得た上で」ということは、就学援助を申請していても、歳末たすけあい見舞金の方には、名前が出ないということもあるということか。

船橋参事 本人の同意が得られない場合は、情報提供をしません。

高橋委員 歳末たすけあい見舞金の支給を受けられない保護者からクレームがあっても、「提供について本人同意がなかったから」ということでそれで終わりか。

船橋参事 保護者には、情報提供に同意しない場合、歳末たすけあい見舞金の支給を受けられないこともあることをきちんと説明をします。その上でも同意を得られない場合は、そういう場合もあり得るということを丁寧に説明してまいりたいと考えております。

松本委員 生活保護に準ずる程度に生活に困窮しているというのはどういう世帯のことなのか。

船橋参事 家族構成や児童生徒の年齢等ごとに基準額が定められており、世帯の年間収入がそれを下回った世帯が認定されることとなります。

須賀会長 ほかに何か意見等あるか。なければ登録簿変更届を承認してよろしいか。
(異議無し)

須賀会長 以上で第9回野田市情報公開・個人情報保護審査会の公開部分の議題を終了する。

以上